

解答

□

問一 A きぬ b うく

問二 C ア D エ E イ

問三 結果が短期間に出る、良し悪しが明白な

問四 自分を守る嘘

問五 嘘をついて目の前の困難や苦しさから逃げ続けていると、何かを誤魔化しながら生きること慣れ、いざというときに力を発揮できない人間になり、偽りだらけの人生を送ることになるから。

問六 必要に応じて嘘をつくことはあっても、正直であるうとすることをあきらめない生き方。

問七 将棋という嘘のない世界を経験した筆者は、自分が譲れない場面では、嘘をつかずに自分の心に正直に生きたいと考えているから。

問八 a 局面 b 事態 c 自体 d 格好 e 生身

□

問一 a あせ b あぐら c ねつ d たな

問二 優しい父が怒りと失望でどう行動するのは想像がつかないが、母であれば、怒られてから収束するまでを鮮明に想像することができたから。

問三 父の怒りが自分に向けられると思うと、父への恐怖心が増し、いつもは感じない威圧感を感じたということ。

問四 父のお仕置きに対する不安を押し隠しながら映画を観ている自分と、頬を腫らした男を重ね合わせたから。

問五 叱責せずに普段通りに振る舞っている間、娘自身が深く思い悩み、後悔し、反省するのを娘への罰としたから。

問六 浅はかな行動で父に苦勞をかけてしまった自分の幼さと、そんな自分を見守り、導いてくれる父の深い愛情を象徴するもの。